

第2章 | 環境保全施策の推進

「目黒区環境基本計画」に掲げた5つの基本方針に沿って、2021（令和3）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

基本方針1 省エネのまちづくり

地球温暖化対策を推進する

2021（令和3）年度の成果

- 二酸化炭素排出量は基準年度末実績値に対して10.3%減少、エネルギー消費量は19.7%減少しており、目標値の7%削減を上回っています。
- 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数はやや減少しており、低炭素ライフスタイルへの転換の取組をより推進していく必要があります。
- 街路灯のLED化は着実に進んでおり、719灯をLED化しました。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2021(令和3) 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
省エネ行動に取り組んでいる人の割合※1	2016	81.7%	79.2%	増加	😞※2
関係計画に基づく成果指標					
二酸化炭素排出量※3	2010	1,087 千t-CO ₂	975 千t-CO ₂ (2019《令和元》 年度実績値)※4	2010(平成22)年度を基準とし、区域全体で2014(平成26)～2020(令和2)年度の間で毎年1%以上、2020(令和2)年度において7%以上削減	😊
エネルギー消費量	2010	13,215 TJ	10,614 TJ (2019《令和元》 年度実績値)※4	2020(令和2)年度において7%以上削減	😊
取組点検項目					
「めぐろ笑エネトライ」参加件数(☆)	2015	31件	—	—※5	—
めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)参加件数(☆)	2010	23件	23件	増加	😞
住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数(☆)	2010	140件	94件	増加	😞
街路灯のLED化	2017	732灯	719灯	推進	😊
環境配慮型の道路整備	2017	保水性舗装 遮熱性舗装 10,122㎡	—※6	推進	—

※1 本編P81、82の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★1マークの項目の集計結果の平均値から算出。

※2 本編P71「標本誤差について」により、数値の増減は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」としました。

※3 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」では、「地球温暖化対策推進法」の対象である温室効果ガス(7種類)のうち、区の排出量の96%以上を占める「二酸化炭素」が対象。

※4 出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2022(令和4)年3月発行「特別区の温室効果ガス排出量<1990《平成2》～2019《令和元》年度>」

※5 「めぐろ笑エネトライ」は2020(令和2)年度で事業終了。

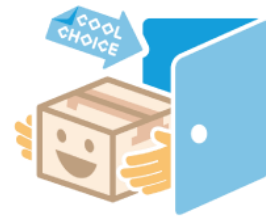
※6 保水性舗装は2020(令和2)年度で完了。今後は、遮熱性舗装を実施。

施策の目標 1-1 低炭素のライフスタイルへの転換

● 省エネ・節電行動の推進

区報や区ホームページにて、省エネ行動を推進するための取組例や、様々な助成制度の案内を紹介しました。

また、区では、国が推進している地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、一人ひとりのライフスタイルの転換を促す取組の周知に努めました。



1回で受け取りませんか
 <COOL CHOICE 1回で
 受け取りませんかキャンペーンロゴ>

● 「めぐろスマートライフ」での情報発信

区では、エコライフめぐろ推進協会と連携・協力し、ホームページ「めぐろスマートライフ」を公開しています。

このホームページは、より快適で便利な、思わずトライしたくなるようなアイデアやコツなどの情報を発信し、めぐろスマートライフ（環境にやさしい行動を賢く選択できる暮らし方）を実践していくことで、低炭素社会の実現を目指すものです。

一方的な情報提供だけでなく、区民からもアイデアや体験談を募集し、双方向の発信を目指しています。



<めぐろスマートライフのキッチン>



<めぐろスマートライフ QRコード>

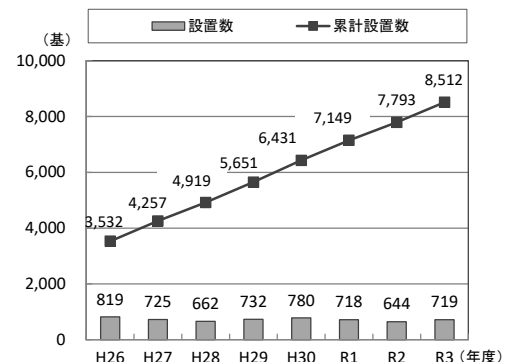
施策の目標 1-2 エネルギーを賢く使う暮らしの創造

● 公共施設の低炭素化の推進

区有施設の改修・改築時に、省エネルギーに配慮した施設の整備を推進するため、区内の小中学校5校や総合庁舎ほか5施設に、LED照明を導入しました。

また、交換時期にあわせてLEDの街路灯を719基設置し、合計で8,512基になりました。

<LED街路灯設置台数の推移>



施策の目標 1-3 気候変動への適応策の推進

● 都市型水害への対策

雨水の地下への浸透を進め、都市型水害を防ぐために、雨水浸透枳の整備、歩道や公園における透水性舗装整備を実施しました。また、雨水流出抑制施設の整備を図るため、事業者との協議や、個人に対する助成を行いました。



<駒場野公園 雨水タンク>

ものを大切にして循環型社会を実現する

2021（令和3）年度の成果

- 1人1日当たりごみ量は、基準年度末時点実績値から27g減少し、目標値に近づいています。これに対し、リサイクル率は、基準年度末時点実績値から1.5ポイント減少しています。その理由は、粗大ごみの量が増加しているためと考えられます。
- 子どもたちへの環境学習実施回数については、区内の保育園や小学校などで資源やごみの適正排出やごみの減量に関する環境学習を8回実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より少ない開催となりましたが、環境学習の実施方法や内容などに配慮しながら、効果的な普及啓発を行うことができました。
- 資源回収量については、基準年度末時点実績値より減少しており、再生利用可能な資源の分別、集団回収などの取組をさらに進めていくことが必要です。
- ごみの適正処理の推進に向けた事業用大規模建築物の排出指導については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでした。

指標の評価

😊 : 目標値を達成 😊 : 目標値に近づいている 😞 : 目標値に近づいていない - : 現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	2021（令和3）年度末実績値	目標	評価
成果指標					
ものを大切にする行動を行っている人の割合*1	2016	91.8%	95.2%	増加	😊
関係計画に基づく成果指標*2					
1人1日当たりごみ量	2014	549g	522g	451g 2025（令和7）年度まで	😊
リサイクル率	2014	27.5%	26.0%	31.7% 2025（令和7）年度まで	😞
取組点検項目					
子どもたちへの環境学習*3実施回数（☆）	2017	31回	8回	現状維持	😞
資源回収量（☆）	2014	20,490t	18,656t	増加	😞
事業用大規模建築物の排出指導	2016	11回	0回	現状維持	😞

*1 本編P81の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★2マークの項目の集計結果の平均値から算出。

*2 「目黒区一般廃棄物処理基本計画」で定められている指標。

*3 子どもを対象に、資源やごみの適正排出について、スケルトン清掃車やパネルなどを活用しながら清掃事務所で行う事業。

施策の目標 2-1 ごみをつくり出さない意識の醸成

●環境学習の実施

子どもたちや周囲の大人たちが資源とごみの適正排出やごみの減量について興味を持ち、日々の生活の中で実践していくことを目的に、ごみ減量キャラクター、紙芝居、パネルなどを活用した環境学習を実施しています。

2021（令和3）年度は、保育園や小学校で、環境学習を8回実施しました。



<環境学習用の普及啓発品>

●「めぐろ買い物ルール」普及啓発・取組支援

「めぐろ買い物ルール」は、ごみをなるべく出さない賢い買い物（スマートショッピング）を区内に広めるための、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、食品ロス削減につながる区民・事業者共通のルールです。

「めぐろ買い物ルール」の取組を推進する店舗などを「めぐろ買い物ルール参加店」として登録し、その取組を紹介することにより、ルールの推進及び区民への意識啓発を図りました。



<めぐろ買い物ルール・食べきり協力店ステッカー>

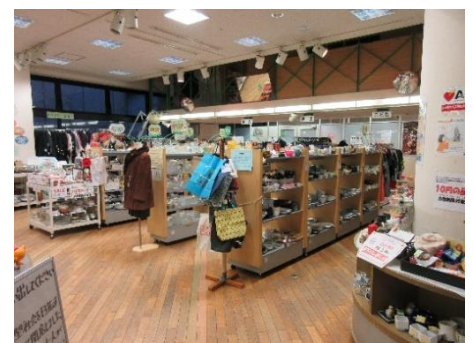
施策の目標 2-2 ごみの減量と資源化の推進

●食品ロス削減の推進

2019（令和元）年度から開始した「食べきり協力店制度」により登録された食べきり協力店は、2021（令和3）年度末時点で78店舗となりました。また、エコライフめぐろ推進協会では、2021（令和3）年4月から、「フードドライブ」の窓口を常設し、5,588点（1,493.58kg）の食品が集まりました。集まった食品は区内の福祉施設に寄付しました。

●3Rによるごみ減量の推進

目黒区エコプラザのリサイクルショップでは、「もったいない」意識の向上と環境への理解を深めるため、ご家庭で不要になった物をご寄付いただき、欲しい方へ販売しています。またお買い物の際には、特にリデュース・リユースの提唱と発信を行っています。



<目黒区エコプラザのリサイクルショップ>

施策の目標 2-3 ごみの適正処理の推進

●ごみの分別ルールの徹底

ごみの分別ルールの徹底を図るため、排出ルールが守られないなど、課題のある集積所に対して、必要に応じて回収の都度、ごみの適正な排出指導や集積所の改善についての相談を実施しました。また、不法投棄を予防するため、集積所などに警告ポスターを掲示しました。

基本方針3 みどりづくり

みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する

2021（令和3）年度の成果

- 公園・ひろば等の面積は、人口増に伴い減少となっています。
- 保存樹木本数は2020（令和2）年度末実績値よりも減少し、保存樹林面積は増減ありませんでした。
- 屋上緑化・壁面緑化助成面積・接道部緑化助成延長は、基準年度末実績値よりも増加しました。
- いきもの气象台情報提供数については、2017（平成29）年度末実績値よりも減少しました。
- 野鳥の年間観察種数は、基準年度よりも増加しました。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2021（令和3） 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
みどり豊かで魅力的なまち であるとを感じる人の割合※1	2016	69.8%	70.5%	増加	😊
取組点検項目					
公園・ひろば等の面積	2015	1.80㎡/人	1.76㎡/人	増加	😞
保存樹木本数・ 保存樹林面積（☆）	2014	樹木 119件 521本	樹木 237件 656本	増加	😊
		樹林 26件 85,605.63㎡	樹林 25件 81,825.63㎡		
		生け垣 63件 2,527.9m	生け垣 71件 2,706.95m		
屋上緑化・壁面緑化 助成面積・接道部緑化 助成延長（☆）	2017	屋上・壁面 5,491.65㎡	屋上・壁面 5,792.64㎡	増加	😊
		接道部 10,604.29m	接道部 11,257.53m		
いきもの气象台情報提供数 （1～12月）（☆）	2017	2,953件	2,394件	増加	😞
野鳥の年間確認種数 （☆）※2	2013	52種	56種	増加※3	😊

※1 本編P74の区民に対する『環境に関するアンケート』の「1. 現在のお住まいの身近な環境について」の問1の★3マークの項目の集計結果から算出。

※2 1～12月での累計。

※3 50種を維持し、70種を目指します。

施策の目標 3-1 拠点となるみどりの保全と創出

●公園・緑地の確保と質の向上

身近な公園・緑地の量的な確保のために、2006（平成18）年度からこれまでに29か所の公園・緑道の改良工事を実施しました。

公園の管理には、住民ボランティアが関わり、花壇、雑木林、土壌、生物の生息環境の向上に寄与する質の高い公園管理を目指し、8つの公園で19団体が住民参加による公園管理を行いました。



<住民参加による公園管理>

施策の目標 3-2 身近なみどりの保全と創出

●住宅地のみどりの保全

区では、一定規模以上の大きさの樹木、生け垣、樹林を保存樹木などとして指定し、維持管理費用の一部を助成しています。2012（平成24）年度から休止していた新規指定を2015（平成27）年度から再開し、総数は333件となりました。

<保存樹木などの指定状況>

種別	指定対象	指定数
保存樹木	幹周りが80cm以上又は高さが1.5m以上ある樹木	656本
保存生け垣	高さが0.9m以上で長さが20m以上ある生け垣	71件
保存樹林	300㎡以上の樹林地	25件

●民有建物における緑化の推進・支援

区全体の面積の約7割は、民有地です。区では、民有建物における緑化（屋上、壁面、接道部など）を支援するため、「みどりのまちなみ助成」を実施しています。

<みどりのまちなみ助成の種別・対象と助成の実績>

種別	助成の実績（面積・延長）	
	2021 （令和3）年度	累計
接道緑化 （道路沿い緑化）	61.49m	11,257.53m
屋上緑化 （ベランダ緑化を含む。）	113.20㎡	5,258.73㎡
壁面緑化	7.98㎡	533.91㎡



<道路沿い緑化の例>

施策の目標 3-3 都市の生物多様性の確保

●区内の自然・いきものを学ぶ機会の提供

雑木林の管理作業や自然観察を通じて自然保護意識の向上を図ることを目的に、自然クラブの開催や駒場野公園内の自然観察舎を利用した体験型自然学習の推進を図っています。

2021（令和3）年度は、自然クラブを24回開催し、651人の参加がありました。また、自然観察舎は13,433人の利用がありました。

健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

2021（令和3）年度の成果

- 大気（大気汚染常時監視）、自動車騒音（常時監視）の環境基準達成率は、目標を達成できませんでした。
- 犬のふん尿等に関する苦情件数は、基準年度末実績値より約2割増加しており、飼い主への普及啓発が必要です。
- ポイ捨てキャンペーン及び犬の飼い方セミナーは新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

指標の評価

😊: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	2021（令和3）年度末実績値	目標	評価
成果指標					
住み心地よいと感じている人の割合※1	2016	58.0%	62.8%	増加	😊
取組点検項目					
大気環境基準達成率※2（大気汚染常時監視）	2010	光化学オキシダント非達成	光化学オキシダント非達成	環境基準の達成※3	😞
大気環境基準達成率（沿道の窒素酸化物※4濃度）	2010	全地点達成	全地点達成	全地点達成※5	😊
水環境基準達成率（目黒川）	2010	BOD※6 1地点で4回中、 1回非達成	全回達成	全回達成※7	😊
自動車騒音の環境基準達成率（常時監視）		—	6地点中、 昼間4地点、 夜間2地点で達成	全6地点での 環境基準の 達成※8	😞
工場、指定作業場の監察件数	2017	工場 20件 指定作業場 4件	工場 5件 指定作業場 0件	増加	😞
犬のふん尿等に関する苦情件数	2016	80件	97件	減少	😞
キャンペーン・セミナー参加者人数（ポイ捨て キャンペーン）（☆）	2010	57人	中止※9	増加	—※9
キャンペーン・セミナー参加者人数（犬の飼い方セミナー）（☆）	2016	27人	中止※9	増加	—※9

※1 本編P74の区民に対する『環境に関するアンケート』の「1. 現在のお住まいの身近な環境について」の問1の★4マークの項目の集計結果の平均値から算出。

※2 ここでいう「環境基準達成率」とは、それぞれの指標項目で設定した目標への到達度合いのことを指します。

※3 東山中学校屋上で行っている大気汚染の常時監視項目の全項目が環境基準を達成していること。

※4 燃料中や空気中の窒素が燃焼して酸化することにより生成されます。健康影響のほか、光化学オキシダントの原因物質のひとつ。

※5 対象道路沿道での窒素酸化物濃度の測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（8地点）で環境基準値を満たしていること。

※6 BOD（生物化学的酸素要求量）：河川の水質を表す指標のひとつで、水中の微生物が有機物を酸化・分解するときに消費する酸素の量を示しています。BOD値が大きいほど汚濁物質（有機物）が多く、水の汚濁が進んでいるといえます。

※7 目黒川での水質測定の結果が、全地点（3地点）、全回（年4回）で環境基準値を満たしていること。

※8 「国土交通省2015（平成27）年度道路交通センサス」（22区間）を対象に実施する交通騒音測定（面的評価調査）結果が環境基準を達成すること。単年度の測定は、全22区間から偏りのないよう計画的に6区間（地点）を選定して実施しています。

※9 新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

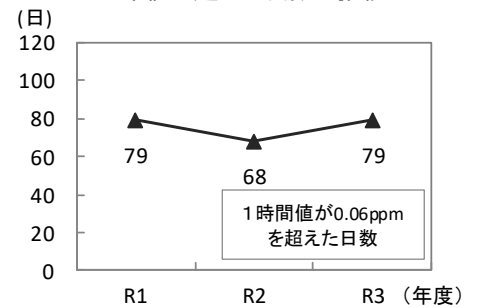
施策の目標 4-1 大気・水・土壌環境の保全

●大気環境の監視・情報提供

区では、東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、環境測定を実施しています。測定の結果、光化学オキシダントは、基準を達成しませんでした。

また、幹線沿道における窒素酸化物濃度調査を4回（各回平日5日間連続測定）行った結果、測定期間中、環境基準を超過した日はありませんでした。

<光化学オキシダント濃度が環境基準値を超えた日数の推移>



●河川環境の改善

河川の水質改善や臭気抑制を目的として、目黒川では、河川・水面の清掃、河床整正・浚渫、目黒川クリーンアップ大作戦の実施などを行っています。2021（令和3）年度の目黒川クリーンアップ大作戦は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。



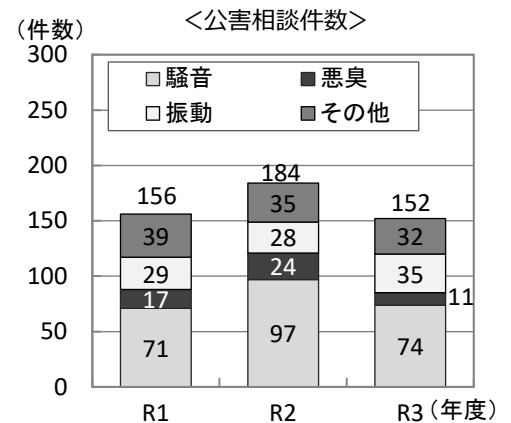
<2019（令和元）年度
目黒川クリーンアップ大作戦>

施策の目標 4-2 身近な環境問題への対応

●生活公害（騒音・振動・悪臭等）に係る相談・調整

近年の公害相談は、騒音・振動、悪臭など典型7公害のほか、アスベスト被害に対する不安や一般生活苦情（空き地の雑草、落ち葉）など多岐にわたっており、解決までに時間を要する困難な案件も増加しています。

2021（令和3）年度の公害相談件数は、152件でした。



施策の目標 4-3 住み心地のよい生活環境の確保

●地域美化活動支援

まちの美化活動に対する支援として、スーパーズの事務局運営などを行いました。

中目黒スーパーズの活動実績として、1,222回、延べ6,129人が清掃活動に参加しました。

区では、環境美化推進団体にトングやガム取り棒など清掃用具の貸出しや啓発品を提供するとともに、落書き消去剤の貸出しを13件行いました。また1件の落書き防止対策を実施するための経費の補助申請がありました。



<スーパーズ活動>



<中目黒スーパーズ ロゴ>

環境を守りはぐくむ人を育てる

2021（令和3）年度の成果

- 出前講座実施回数については、新型コロナウイルス感染症対策のため、回数が減少しました。
- 環境配慮活動団体数について、環境に取り組む団体が着実に増加しています。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2021（令和3） 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
環境保全に関する取組に参加 したことがある人の割合※1	2016	14.4%	9.4%	増加	😞
取組点検項目					
出前講座実施回数（☆）	2010	小学校出前講座 15校794人	小中学校出前講座 4校242人 その他出前講座 2回32人	増加	😞
		子育てママの エコ入門 10組20人	子育てママの エコ入門 22組47人		😊
環境配慮活動団体数 （目黒区エコプラザ支援団 体）（☆）	2010	8団体	7団体	増加	😞
環境配慮活動団体数 （スーパース活動団体） （☆）	2010	32団体	36団体	増加	😊
環境配慮活動団体数 （グリーンクラブ、公園活動 登録団体の合計数）（☆）	2014	107団体	111団体	増加	😊
環境推進員ステップアップ 講座・交流会参加者数（☆）	2010	20人	14人	増加	😞

※1 本編P81の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★5
マークの項目の集計結果から算出。

施策の目標 5-1 環境教育・学習の機会の充実

●エコプラザを活用した環境学習

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催し、参加人数は合計で989人でした。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部事業が中止となりました。



<何でもつくり隊「エコ布ぞうり」>

●多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化

6月の環境月間に、総合庁舎本館西口ロビーで環境パネル展を開催し、省エネ活動・ポイ捨て防止等の啓発を行いました。

また、エコプラザだよりの発行（計12回）やホームページなどを活用し、広報の充実に努め、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。なお、さまざまな機会、媒体を活用することで環境情報の発信力を高めました。

<目黒区エコプラザの利用状況>

利用項目	登録人数 /利用件数
新規利用登録人数	104人
活動室利用件数	169件
図書貸出し件数	230件

施策の目標 5-2 環境保全活動の推進

●めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援

エコサポーター制度登録者は、2021（令和3）年度末で111人となっています。毎月エコサポーターに情報提供を行いました。エコライフめぐろ推進協会のイベントや講座が新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどが中止となりました。エコライフめぐろ推進協会ホームページ上にめぐろエコサポーター専用ページを作成し、情報の提供を行いました。

施策の目標 5-3 ネットワークの形成

●地域の環境保全活動の普及および参加促進

2021（令和3）年度は、「エコまつりめぐろ2021パネル展」として実施しました。

地域の環境保全活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組む区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」では、1団体、1事業者を顕彰しました。



<エコまつりめぐろ2021パネル展>

●他地域との連携による取組の推進

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策に係るカーボン・オフセットを展望した事業の一つとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山^{しほうざん}の一角に創設しました。2021（令和3）年度は、植樹した樹木を生育させるため、生育の支障となる下草などの刈り払いを実施するとともに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



<めぐろエコの森>